高松キャンパス共通 平成29年度

- 高松キャンハス共連 - 平成29年度									
科目名	Ø	日本事情Ⅲ			担当教員	高橋洋一			
	Japanese Culture III			担ヨ教貝	同 備 仟 一				
学	年	5年	学 期	 通年	履修条件	選択	単位数	2	
分	野	一般	授業形式	演習	科目番号	17120055	単位区分	履修単位	
₩ 22 □	1 4#5	1. 専門科目の学習	を通して工	学系の専門用語の	用法を身に	つけ、日本語の	理解を深める	<b>5</b> 。	
学習目標	憬	2. 日本の文化や常識を理解し、異文化に対する適応能力を身につける。							
		専門科目や卒業研究に関連する演習問題や課題レポートを題材に、日本語による思考、討論、記述							
`# \	カ方	をすることで,専門用語を含んだ日本語の使い方を習得する。また,日本の文化や常識を知った上							
進 (4)		で日本社会の中にある日本的な問題を深く考えて討論し、自国の文化との相違点を理解することに							
		より異文化に溶け込む力を身につける。							
		学習項目(時間数)				学習到達目標			
		1. 専門科目の演習(15)			・専門和	・専門科目で用いる専門用語を含んだ日本語の使い方を身につける。			
		(1) 専門科目の学習と質疑			い方を				
		(2) 課題レポートの作成							
					学習	学習・教育目標との関連 (B-1)			
		(課題レポート1)							
		2. 日本文化の理解 1 (15)			・日本 <i>0</i>	・日本の一般的な文化や常識を知る。			
		(1) 日本の文化や常識の理解			<ul><li>関心の</li></ul>	・関心のある日本的な問題を深く考え、自国の文			
		(2) 関心のあるトピックの調査・検討と討論			i 化との	化との相違点を理解できる。			
		(3) 課題レポートの作成							
					学習	学習・教育目標との関連 (B-1)			
学習内	P容	(課題レポート2)							
		3. 卒業研究に関する演習 (15) (1) 卒業研究に関する演習と質疑			,太紫石	・卒業研究に関連する専門用語を含んだ日本語の			
						使い方を身につける。			
			<b>質レポートの作成</b>						
		(a) Parker A. I as II have			学科	学習・教育目標との関連 (B-1)			
	ŀ	(課題レポート3							
		4. 日本文化の理解 2 (15)			<ul> <li>日本の</li> </ul>	・日本の一般的な文化や常識を知る。			
		(1) 日本の文化や常識の理解				・関心のある日本的な問題を深く考え、自国の文化との相違点を理解できる。			
		(2)関心のあるトピックの調査・検討と討論			12 T				
		(3)課題レポートの作成			,55	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
		(5) 8/10 (2)			学習	学習・教育目標との関連 (B-1)			
		(課題レポート4)							
		=HHT, 10 1 (1000/) 1= 1:10 =T/T 1= 7							
評価方法	法	・課題レポート (100%) により評価する。							
	•	・評価の重みは, 学習項目 1~4 に対して 25% ずつとする。							
= 14									
履修要	件	特になし							
		日本語 I (3年) →日本語 II (3年) →日本語 III (4年)							
関連科	目	日本事情 I (3年) →日本事情 II (4年)							
		専門科目や卒業研究に関連する演習問題や課題レポート。							
教	材	専門科目や卒業研究に関連する演習問題や課題レホート。 日本文化の理解に必要な教材を適宜提供する。							
				と心旦1万円りる。					
備	考	受講対象者:留学							
I/H3	-13	学習内容の順番は	状況によりi	適宜変更する。					